
主人公補正なんてあるわけない

ひこぴこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

主人公補正なんてあるわけない

【Nコード】

N9050Y

【作者名】

ひじぴじ

【あらすじ】

中学時代のぼっちが原因で高校でもそのぼっちスキルをいかに発揮するが、部活になんとかかかわりたい俺、吉留悠汰だがぼっち経験年数が長いため部活とは自ら縁を断っていた。そんな俺は夏休み明けに「話術愛好会」という名を聞く。なんでもトークスキルをあげる部活であるとか。だがメンバーは中二病だったり、そいつと話すと必ず泣いて帰らせてしまうくらい口が悪い奴だったり、全く人のことを考えなかったり。でもこういう部活に入ると決まって恋愛フラグとか立つよね。ただどこでは主人公補正なんてある

わけない!!

プロローグ（前書き）

初投稿よろしくおねがいします。吉留くんの1人ポケッツコミ(?)
をお楽しみください。プロローグだけでは無理がありますが。

プロローグ

十七歳にもなって部活、クラブ経験0というのは俺の中ではとてつもなく厳しい状況に追い込まれている。

本当は友達と仲良くしたい、けどその前にどもってしまったり、余計なことを口走ってしまったり。この若干コミュ障な性格がずっと続いてとうとう思考回路までもがおかしくなってしまうた。ひねくれすぎてゴム人間のあいつもびっくりだぜ。

人と話すことなんて業務連絡的な要素だけである。今日掃除だよとか。先生に呼ばれてるよ。とかそんなもんしかない。

だけどそれを好んでもいないんだ。ここはクールに《友達いないがそれにも慣れてしまった》とか《友達なんかいるか、一人でいるほうがずっと楽しい》とか言えない。

だからいろいろがんばるんだけど中学からこんな感じだからどうしようもできないんだなあこれが。どんどん波に乗っていく前の俺の友達。だんだんぼっち化していく俺。オタクたちだつてちゃんとコミュニケーション組んでるのに、なんで俺だけとれないんだ。小学までのプライドが許さなかったんだろうな、今は思う。そんなちっぼけなプライドどうでもよかったのに。あの時はあんなに友達と笑いとってたのになあ、あいつがボケで、俺がツッコミで。小学まではよかったんだ小学までは！

だけどそんな暗黒中学時代から打開しようと思ったんだ。高校生の吉留悠汰は以前とは違う……予定だった。

高校入学後の自己紹介。意を決してウケを狙い、しゃべってみたあの時。中学時代のぼっち状態が影響したのか、

「え、あの、ええと北浦中学出身のよせたm、吉留……です。中学ん時は……（あ、中学時代にあんまりいい思い出がなかった）あの、やっぱり小学時代はサッカー部、じゃなくて、サッカー……やっつてました。でもそんなに運動神経よくなかったりします。あははは……みんなはサッカーやっつてたか！」シーン

かみすぎだろ、おい。しかもなんとかへマを取り戻そうとして、

「（ここは自虐ネタで攻めるしかない！）あ、すみません。今のなしです。はい。こんなバカあれですよ（笑）付き合いたくないですよ、でもみんなと仲良くしたいです。」

支離滅裂ですね。もうこの時点で痛い子認定されるレベル。

「（やべ、緊張しておなか痛くなってきた……！）そ、それと僕アニメとか好きなので、みんなといろいろ話したいです。だからええといえy b g f v u j v f ぶいしゅ d j f」

おまけに早口になってしまつというキョドつぶり。俺つてほんとバカ。最後のほうとか宇宙に電波発信してたよ。NASAよ、就活のときは履歴書だすから俺を是非とも採用してくれ。

「先生！トイレ行きたいです！ちょっと……漏れそう。」

「お、おう。はやくいってこい。じゃあ吉留は飛ばして……次は」

あまりの羞恥プレイと腹イタでトイレに逃げ込みました。

教室に戻るとクラス全員俺を変質者を目撃したような目で見てい

たな。あのときの光景いまでも覚えている。ていうかトラウマだよ！

ああ、なんか神様とか降りて俺を主人公扱いしてくんないかなあ。割とマジで。そうすりゃあんな発言してもイケメンだから許すとかみたいな感じで補正されるのに……

「その幻想をぶち殺す！」とか「サモン！」とかかつこよく叫んでヒロインにべた惚れされるとか、「やれやれ」とかほざいて不思議探検しながらデートばかりするとか、「俺は友達が少ないとか」「くっちゃべって結局はいつのまにかハーレム状態！になってるとかどんだけ主人公補正かかってるんだよ！

俺友達少なくてええよ！むしろいねえよ！

そんな嫉妬と不安が覆いつくす高校生活。

あいつらに出会うまではそうなると思ってた。

あの残念すぎるスカポントンたちは勇気を俺にくれたんだ。

世界は狭いなー。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9050y/>

主人公補正なんてあるわけない

2011年11月27日01時51分発行